

報道関係各位

2025年6月3日

東京エレクトロン デバイス長崎株式会社

## 南日本放送のラジオ中継局向けに設備監視ソリューションを提供 ～3G 回線終了による監視システムの刷新に対応、メンテナンス性の向上と作業負荷の軽減～

東京エレクトロン デバイス長崎株式会社(本社:長崎県諫早市、代表取締役社長:松嶋富浩、以下 TED 長崎)が提供する中継局向け設備監視ソリューション「RMS シリーズ」が、株式会社南日本放送(本社:鹿児島県鹿児島市、代表取締役社長:中野寿康、以下 MBC)のラジオ中継局に採用され、現在、現地での検証が進められています。本システムは、2025年度中に5局へ順次導入される予定です。

本システムの導入は、2026年3月に予定されている3G通信サービス「FOMA」の提供終了に伴う、既存の遠隔監視・制御システムの刷新という喫緊の課題に対応するものです。

IPネットワークを活用し、オープンソース統合監視ソフトウェア「Zabbix」と連携することで、コストを抑制しながら汎用性と拡張性に優れた監視体制の構築を目指しています。さらに、アプライアンス型のRMSシリーズを採用することで、メンテナンス性の向上と、社内での技術・保守スキルの蓄積も図ります。

URL: <https://www.ngs.teldevice.co.jp/case/MBC.html>

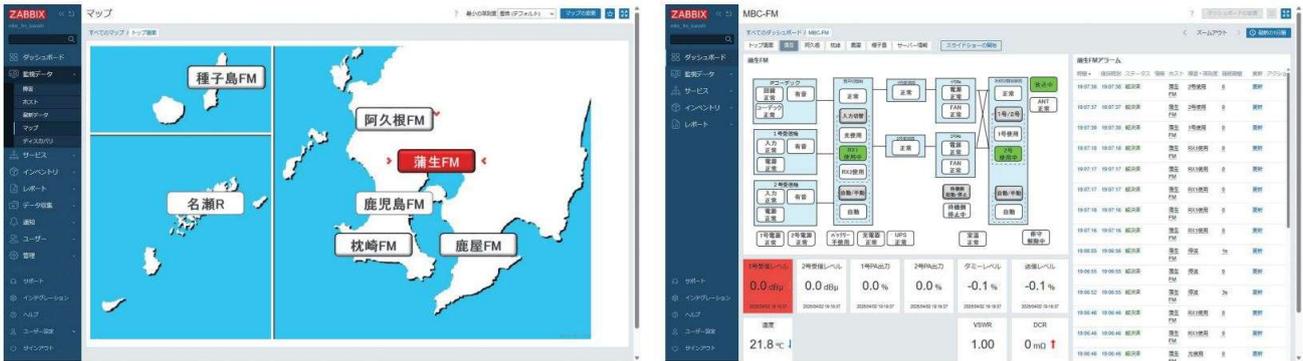
### ■導入の背景

株式会社南日本放送(MBC)は、鹿児島県を放送対象地域とするテレビ・ラジオ兼営局で、地域に密着した放送活動を行い、数々の長寿番組を有しています。

これまで、MBCは旧来の中継局監視・制御専用システム(リモコン)を利用していましたが、2026年3月に予定されている通信サービス「FOMA」の提供終了により、ラジオ中継局の新たな遠隔監視・制御システムの構築が急務となっていました。さらに、昨今のビジネス環境の変化から導入コストの抑制が求められると同時に、技術スタッフの高齢化に伴う技術継承、そして保守スキルの社内蓄積も課題でした。

こうした課題に対し、MBCは汎用性と拡張性に優れた監視・制御システムの導入を決定。社内ネットワークの監視で利用していたオープンソース統合監視ソフトウェア「Zabbix」を組み合わせることで、コスト削減に加え、将来的な運用負荷の抑制、そして自社内における設備監視・制御に関するノウハウやスキルの蓄積を目指しました。そこで、SNMPによる監視・制御に対応し、Zabbixとの連携実績も豊富なTED長崎のネットワーク対応多点接点監視・制御ユニット「RMS-DIO4816-PI」、およびアナログ入力モジュール「RMS-AI08」を採用しました。

＜南日本放送様における Zabbix を用いた遠隔監視・制御システム画面＞



## ■提供システム

- ネットワーク対応多点接点監視・制御ユニット「RMS-DIO4816-PI」、およびアナログ入力モジュール「RMS-AI08」

交流／直流の選択可能な電源ユニットの冗長化に対応し、最大で監視 48 点、制御 16 点を必要とするラジオ中継局ごとの接点信号点数、およびアナログ信号点数に合わせ必要十分な機器構成で対応。
- Zabbix 7.0 LTS との連携

RMS シリーズで収集した接点情報やアナログ信号を SNMP で Zabbix 7.0 LTS に連携し、統合的な監視を実現。放送機のアラーム・電波の受信状態・停電情報・発電機の運転状況などを監視対象とし、異常発生時にはアラートで通知。制御については、別途開発された Web 画面から RMS シリーズにコマンドを送信して実施。
- Zabbix テンプレートの提供

RMS シリーズと Zabbix との連携に特化したテンプレートを提供。テンプレートには基本的なトリガーが含まれており、マップ機能でのアイコン配置などにより、監視画面の開発を効率化。テンプレートをガイドにすることで、機能追加も容易。

## ■提供システムの導入効果

- 従来と同等の監視体制の構築とノウハウ蓄積

汎用的なシステムでありながら従来の監視項目を網羅し、かつ、直感的なユーザーインターフェイスを実現。また、システム構築・運用を通じて、監視・制御に関するノウハウとスキルを社内に蓄積。
- メンテナンス性の向上と作業負荷軽減

アプライアンス型のシステムであるため保守性に優れ、万が一の故障時もユニット交換で迅速に対応可能。これによりメンテナンス時の作業負荷が大幅に軽減。
- メンテナンス作業の効率化

直流／交流電源の冗長対応や停電時の自動切り替え機能により、現地でのメンテナンス作業を大

幅に軽減。

今後、南日本放送様では、現在の中継局における実証を経て、2025年度中にRMSシリーズを5局に順次導入していく計画です。TED長崎は今後も、現場の運用ニーズに即した製品開発と柔軟なカスタマイズ対応を通じて、放送局における設備監視の高度化と省力化に貢献してまいります。

## ■展示会出展予定

### Interop Tokyo 2025

会期：2025年6月11日(水)～13日(金)

会場：幕張メッセ（国際展示場 展示ホール4～8 / 国際会議場）

Zabbix Japan（小間番号 6F04）

Zabbix インテグレーションプログラム・スペース に本事例導入機器を展示

主催：Interop Tokyo 実行委員会

参加費：無料

URL：<https://www.interop.jp/>

## 株式会社南日本放送について

株式会社南日本放送(MBC)は、1953年に開局された鹿児島県を拠点とする放送局で、県内唯一の民間ラジオ・テレビ兼営局です。本社は鹿児島市高麗町に位置し、地域に密着したニュースや情報番組の制作を通じて、地元コミュニティへの貢献を続けています。テレビ放送ではJNN系列、ラジオ放送ではJRN・NRN系列に加盟し、鹿児島県全域を対象に放送を行っています。長年にわたり、地域に根ざした番組制作と情報発信を通じて、鹿児島の文化と暮らしを支えています。

## 東京エレクトロン デバイス長崎株式会社について

東京エレクトロンデバイス長崎は、スマートエネルギー関連製品、DCIM 関連製品、CTI 関連製品などの自社ブランド製品をもつメーカーです。そのデジタル化技術で各種電子機器の受託開発、試作、量産までワンストップで対応しています。

URL：<https://www.ngs.teldevice.co.jp/>

<本製品に関するお客様からのお問合せ先>

東京エレクトロン デバイス長崎株式会社 情報機器営業部

Tel:050-3509-5618、Fax:050-3606-5166

<本件に関する報道関係からのお問合せ先>

東京エレクトロン デバイス長崎株式会社 総務部 才津

Tel:0957-25-2001、Fax:0957-25-2045

※ このニュース リリースに記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。